

# 印西市第10次実施計画を策定

市は、平成22年3月の印西市・印旛村・本埜村の合併に伴い、新市としての円滑な運営と均衡のとれた健全なまちづくりを指すため、新市が取り組む主要な事業を明記した「第10次実施計画」を策定しました。



◀▲新市全体の均衡ある発展を目指します



「第10次実施計画」では、市のまちづくりの指針である「印西市基本構想2001-2010」の将来都市像実現のため、後期5カ年計画として平成18年3月に策定した「印西市第2次基本計画」および平成21年7月に印西市・印旛村・本埜村合併協議会で策定された「新市基本計画」に掲

## 6つの柱の目的および平成22年度主要事業(予算事業)

※( )内は5月臨時議会における補正予算を含む平成22年度予算額。

### ① 緑豊かな自然を活かす持続的なまちづくり

◎目的：地球規模の環境破壊が問題となっている今日、本市においてもこれまでのような利便性追求型の急な開発から、環境共生型の持続可能なまちづくりを推進すること

に、緑豊かな環境を創造し、自然環境や田園風景を未来の世代に引き継いでいきます。

【事業名】▼環境基本計画の推進事業(4,625千円)▼太陽光発電システム等設置費補助事業(26,150千円)▼21住区公園整備事業(152,630千円)。

② 互いに支え合い心が通うまちづくり

◎目的：誰もが印西市に住んでいてよかったですと思える健康で、真に

ける施策を推進するため、新市が取り組む主要事業として203の事業を掲げ、平成22年度から平成24年度までの3カ年の事業内容を明記しています。このうち、平成22年度の主要事業(予算事業)として位置付けたものは、次のとおりです。

なお、第10次実施計画は、企画政策課、支所市民福祉課、出張所・図書館で閲覧しています。また、市ホームページでもご覧いただけます。

### ② 互いに支え合い心が通うまちづくり

安心していつまでもいきいきと暮らせるまちづくりを推進していくために、高齢者、障がい者、児童が安心して利用できる各種サービスの充実、支援システムの構築を目指していきます。

また、社会の状況の変化に対応できるまちづくりを目指していきます。

【事業名】▼社会福祉総務事務に要する経費(13,174千円)▼地域自殺対策緊急強化基金事業(837千円)▼介護予防事業に要する経費(32,347千円)▼子ども医療費助成事業(89,110千円)▼子育てヘルプサービス事業(1,881千円)▼健康診査事業(11,494千円)▼母子保健事業(97,345千円)。

③ 多彩な産業が育つ活力あるまちづくり

◎目的：本市が広域幹線道路の交差点に位置するという地

理的特性や千葉ニュータウンの企業集積や大学立地、恵まれた自然環境を活かしながら新しい製品の開発や高付加価値化、リサイクル製品の開発など、意欲的な技術開発に取り組める環境づくりを進めていきます。

地域資源や多様な人材を活かした新たな地場産業、地場産品の創出など、今ある産業を守り育て、新たな業を起すことを支援し、市民がいつまでも働くことのできる環境づくりを目指していきます。

【事業名】▼新規就農促進事業(1,272千円)▼遊休農地解消事業(123千円)▼農地・水・環境保全向上対策事業(1,274千円)▼企業誘致推進事業(37,561千円)▼商店街活性化事業(970千円)▼中小企業資金融資事業(27,885千円)▼商工振興対策事業(9,957千円)。

### ④ 豊かな文化を創造するまちづくり

◎目的：本市の誇り得る特色の1つは、先人から受け継いだ歴史と文化と風土です。日常生活の中でふるさとにふれあひながら、市民一人ひとりが自分の能力を積極的に発揮し、お互いに教えあひ、学びあひ、高めあふことで生きがいを持って暮らせるよう、さまざまな学習活動を通じた地域社会への参画が容易にできる環境づくりを進めていきます。

また、未来のいんざいを担う子どもたちが、いきいきと学び、遊べる環境を整え、自主性や創造性に富んだ成長を支えていきます。

【事業名】▼新規就農促進事業(1,272千円)▼遊休農地解消事業(123千円)▼農地・水・環境保全向上対策事業(1,274千円)▼企業誘致推進事業(37,561千円)▼商店街活性化事業(970千円)▼中小企業資金融資事業(27,885千円)▼商工振興対策事業(9,957千円)。

⑤ 暮らしやすい都市機能のあるまちづくり

◎目的：豊かな都市機能にあふれ、便利で安心して生活できるまちづくりを進めるため、基盤整備は、環境、ノーマライゼーション、防災など、さまざまな事象に配慮して進めていきます。

また、首都機能の一翼を担う業務核都市としての都心の形成を促進させ、交通事故や犯罪、自然災害から市民の生命・財産を守る安全なまちづくりを目指していきます。

【事業名】▼自主防災組織助成事業(3,432千円)▼公共交通網整備促進事業(178,813千円)▼地域活性化の推進に要する経費(10,434千円)▼防犯対策

【事業名】▼(仮称)21住区小学校等施設整備事業(38,038千円)▼小学校施設整備改修事業(288,951千円)▼きらり輝く印西の子供育成事業(2,095千円)▼国際理解教育推進事業(42,900千円)▼市史刊行事業(6,757千円)▼(仮称)中央駅前地域交流センター整備事業(715,531千円)▼電算システム統合に要する経費(図書館)・(50,752千円)▼スポーツ指導者育成に要する経費(2,686千円)▼ゆめ半島千葉国体開催に要する経費(77,948千円)。

### ●実施計画に要する事業費●

実施計画に要する事業費および将来都市像実現のための6つの柱別内訳は下記のとおりです。

#### ●実施計画事業費(年度別)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	3カ年計
事業費(千円)	14,683,695	14,920,714	12,879,896	42,484,305

※2つ以上の施策にまたがる事業(再掲分)を含まない。

#### ●6つの柱別事業費(3カ年計)

区 分	3カ年計(千円)	構成比
1 緑豊かな自然を活かす持続的なまちづくり	2,720,168	5.83%
2 互いに支え合い心が通うまちづくり	19,277,436	41.32%
3 多彩な産業が育つ活力あるまちづくり	1,347,677	2.89%
4 豊かな文化を創造するまちづくり	6,133,797	13.15%
5 暮らしやすい都市機能のあるまちづくり	15,039,677	32.24%
6 市民と共に歩み育むまちづくり	1,349,162	2.89%
そのほか計画事業	784,508	1.68%
合計	46,652,425	100.00%

※2つ以上の施策にまたがる事業(再掲分)を含む。

に要する経費(118,899千円)▼合併処理浄化槽設置事業(47,861千円)▼小林駅舎等整備推進事業(21,525千円)▼自転車駐車場整備事業(927,294千円)▼木下駅北口交通広場等整備事業(327,877千円)▼小林駅南口駅前広場等整備事業(12,300千円)▼印旛中央地区土地区画整理事業(6,910千円)▼住宅市街地基盤整備事業(133,804千円)▼市道物木滝線整備事業(14,349千円)▼道路新設改良事業(263,741千円)▼21住区道路整備事業(1,684,330千円)▼雨水排水対策施設整備事業(12,963千円)。

【そのほか計画事業】▼庁舎耐震改修事業(681,922千円)▼中央駅前出張所整備事業(102,127千円)。

◎目的：真の市民参画を保障し、市民と共に歩み・育む市

政を実現していきます。このため情報の公開や提供を充実し、行政の民主化を推進し、市民同士、あるいは市民と行政の交流を一層深めるための広聴体制の強化や意見交換、討議の機会を充実していきます。また、コミュニティ活動の拠点となる施設を整備・充実し、情報ネットワークによる各分野にわたる活動の支援やリーダーとなる人材の育成を進めていきます。

【事業名】▼庁舎改修に伴う電算室移設事業(48,271千円)▼市民活動支援事業(7,588千円)▼総合計画策定に要する経費(6,485千円)。

【そのほか計画事業】▼庁舎耐震改修事業(681,922千円)▼中央駅前出張所整備事業(102,127千円)。

◎目的：真の市民参画を保障し、市民と共に歩み・育む市

政を実現していきます。このため情報の公開や提供を充実し、行政の民主化を推進し、市民同士、あるいは市民と行政の交流を一層深めるための広聴体制の強化や意見交換、討議の機会を充実していきます。また、コミュニティ活動の拠点となる施設を整備・充実し、情報ネットワークによる各分野にわたる活動の支援やリーダーとなる人材の育成を進めていきます。

【事業名】▼庁舎改修に伴う電算室移設事業(48,271千円)▼市民活動支援事業(7,588千円)▼総合計画策定に要する経費(6,485千円)。

【そのほか計画事業】▼庁舎耐震改修事業(681,922千円)▼中央駅前出張所整備事業(102,127千円)。